

戦時中の情報提供のお願い

大村市近代資料室では、終戦 80 周年(2025 年)に向けて、戦時中の大村の様子についての聞き取り調査をしています。

大村での戦争体験、戦時中の生活の様子、大村から見た原子爆弾の様子など御記憶されていることがありましたら、調査にぜひ御協力をお願いします。

当時体験した御本人だけでなく、御本人から御家族が聞いたことなども、当館の調査範囲になります。

証言の御提供の方法

①大村市歴史資料館(Tel. 0957-48-5050)にお問い合わせください。

②職員が、電話口で簡単な聞き取りをします。

*内容の多さや、情報提供者の御都合・体調に合わせて、後日の聞き取り調査のお願いをすることがあります。

*日程調整し、資料館にお越しいただいたり、お宅に職員が伺ったりして聞き取り調査をします。

*聞き取りに際して、内容確認のための録音をさせていただきます。

質問の一例

1. 原爆投下時の大村の様子について

①当時の職業、何をしていたか

(学徒動員で工場にいた など)

②原爆投下時、どこにいたか

(萱瀬の疎開工場 など)

③光・音・きのご雲の様子

(ピカッと光った、爆音が響いた、様々に色が変化する雲が昇った など)

④周囲の様子

(伝令が退避を伝えた、ガラスが割れた、どこに落ちたかの噂話 など)

2. 戦時中の大村の町の様子や生活について

①日常生活のこと

(空襲警報が鳴った時、空襲時、畑仕事、学校生活、工場への動員 など)

②施設や店の利用のこと

(鉄道の利用が限られた、映画館でニュース映画を見た など)

③団体や地域の活動のこと

(軍隊生活、婦人会活動、防空壕掘り、消火訓練 など)

3. 戦前～戦後の大村の町の様子について

①生活の変化

(物資・食料の増減、引揚者のこと、進駐軍のこと など)

②旧軍事施設の取り壊し、転用について

(21 空廠が畑になった、工員養成所が学校になった など)



お問合せ先

〒856-0831 大村市東本町 481
大村市歴史資料館(ミライオン内)
shiryokan@city.omura.nagasaki.jp

TEL 0957-48-5050

FAX 0957-48-5051

証言の御提供、資料の御寄贈・御寄託の御相談は大村市歴史資料館にお問合せください。